

～子供たちにより良い教育環境を提供するために～

新冠町小学校統合計画



9月29日
新冠・朝日小学校交流学習
節婦漁港市場見学の様子

新冠町教育委員会では、少子化による児童生徒数の減少及び学校施設などの老朽化などを踏まえ、将来的な学校環境整備を進めるため、令和2年10月に『新冠町適正規模・適正配置基本計画』を策定しました。

その後、保護者・地域説明会などでの意見などを踏まえ、令和3年7月、学校統合の具体的な方向性を示すことを目的として、『新冠町小学校統合計画』を策定しました。

新冠町が目指す学校教育の姿

子どもたちが未来社会を生き抜く上で必要な資質・能力を確実に身に付け、より高めていくために、「生きる力を育みふるさと愛を深める新冠の教育」を基本理念として、活力ある学校づくりを目指します。



統合計画の概要

1 統合年月日
統合年月日を令和6年4月1日とします。

基本計画では、前期計画期間内である令和3年度から令和7年度までに統合するとしていましたが、当町にとって大きな教育課題である少人数学級、僅少差学級の早急な解消が必要なこと、その後に計画している施設改築構想の着手を早期に実施することが望ましいことから、このような計画としました。

2 統合の内容
新冠小学校と朝日小学校を新冠小学校に統合します。

3 具体的方策
学校が統合することにより、児童は「新たな環境になじめるか」、「新しい友人関係が築けるか」など、さまざまな不安を抱くことが考えられます。

統合後の不安や動揺をできる限り軽減できるよう、各学校において、教育相談体制のさらなる充実を図るとともに、準備期間において、児童、教員、保護者間の交流活動を実施します。

具体的な方策の内容は次のとおりです。

災害等危機管理の対応

施設や設備の整備だけではなく、津波を想定した避難訓練の実施など、災害に備えた取り組みを強化します。

学校施設・設備

安心・安全な教育活動が行えるよう、施設の状態を踏まえ、必要な修繕などの整備を実施します。また、ICT機器など、時代に即した備品整備を行います。

これまでの教育活動のメリットをなくさないための対応策

- ①きめ細かな学習環境確保への対応
- ・道教委や町教委の加配教員を活用し、少人数指導など、きめ細かな指導を行います。
 - ・各教師の専門性を活かし、今後、導入される教科担任制の円滑導入を図ります。



- ②児童の居場所づくりや発表機会の確保
- ・統合後の規模でも発表の機会などが確保できるよう配慮します。
 - ・加配教員や専門職員（スクールカウンセラー）による心のケアの充実を図ります。
- ③2校間のそれぞれの学習進度の違いをなくすための対応
- ・統合前に学校間の交流や協議を重ね、進度の調整を図ります。

通学バスの乗車時間が長くなり児童の負担軽減を図ることへの対応策

児童の負担を最小限とするため、安全運行を第一に、運行経路や運行時間を検証するなど、児童の負担軽減に配慮し、学校、地域、行政と協議を行います。



- 【現行のバス7路線】
- ①新和美宇太陽線（泉古岸経由）
 - ②芽呂古岸線、③明和線（万世大富朝日高江経由）
 - ④東川緑丘線、⑤節婦大狩部線、⑥万世朝日線
 - ⑦泊津線
- ・試験運行で詳細な乗車時間の把握を行い、運行計画を策定します。
 - ・始発時刻は現行を基準とし、調整が必要な場合は、学校の始業・終業時間を変更することで対応します。

新しい学校づくり

今後の施設改築については、学校施設構想と小中一貫教育の研究を深めることで、新しい学校づくりの道筋をお示ししていきます。

①学校施設の構想

学校が地域に果たしてきた歴史的役割や地域との関係を踏まえた上で、跡利用について協議を進めるとともに、「小中一貫教育」や「放課後こども教室（児童館事業）などとの連携」に配慮します。

②小中一貫教育

小中一貫校や義務教育学校といった系統性を意識した教育制度の調査研究を深め、当町にふさわしい教育形態の確立を図ります。

統合計画説明会と今後の進め方

9月17日～10月12日までの間、7回にわたり、町内各会場で小学校統合計画に関する説明会を開催し、計画の内容を保護者、地域の方々に説明し、意見交換をさせていただきました。

説明会では、統合時期や効率化への疑問など、個別の質疑が出されましたが、全体的に統合の方向性について、理解を得られたものと考えています。

説明会でいただいた意見などについては、今後、設置する学校統合準備委員会において協議し、円滑な統合を進めていきます。



町公式HP
新冠町小学校
統合計画



●教育委員会管理課管理グループ
☎0146-4712547